

---

## 第6回会員総会シンポジウム：今後の生物物理学—50年先への千里眼

---

オーガナイザー：日本生物物理学会 理事会

日時：9月25日（水）12:30～13:50（会員総会中）

会場：A会場（サミットホール天蘭）

司会：小松崎民樹

---

**概要：**大沢文夫氏を追悼するシンポジウムという位置づけで、大沢氏の門下生である郷氏と「大沢流手作り統計力学」の本の作成にご尽力された大沼氏にご講演いただいた後で、大沢氏がおっしゃっていた「生物物理学とは生物学としても物理学としても面白いテーマでなければいけない」という言葉の意味をみんなで考えてみたいと思います。生物物理学の特徴のひとつはその自由な発想のもとで展開してきた異分野融合力にあると思います。生物学と物理学だけでなく、生物学を軸とした色々な異分野融合は今後も強化されていくものと想像されます。パネリストの方々も交えて、情報熱力学、計測・分析科学、計算科学、ホジキン・ハックスリーのような応用数学など他分野へのフィードバックの可能性なども含めて、今後の50年を展望した自由な討論を行い、会員一同、大沢氏の感想、批評を想像したいと思います。

### 講演者・プログラム：

1. 郷 通子氏（元日本生物物理学会会長，名古屋大学名誉教授，お茶の水大学名誉教授）  
「高分子，統計力学，そして生物へ」

2. 大沼 清氏（長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻／生物機能工学専攻）  
「大沼流てづくり統計力学」から得た発生物学のヒント

3. パネルディスカッション「生物学と異分野の融合の観点」

岡田康志氏（東京大学大学院理学系研究科 / 理化学研究所 BDR）情報熱力学，計測科学と生物学

富樫祐一氏（広島大学院統合生命科学研究科 / 理化学研究所 BDR）数理科学と生物学

青野真土氏（慶應義塾大学環境情報学部 / 東京工業大学地球生命研究所）生物学と計算科学

根岸瑠美氏（東京大学定量生命科学研究所）生物学と分析科学

郷 通子氏 物理学と進化学

大沼 清氏 生物学と発生物学